

- 大阪上本町駅から大和朝倉駅まで約1時間
- 京都駅から大和朝倉駅まで約1時間20分
(大和木駅のりかえ)
- 近鉄名古屋駅から大和朝倉駅まで約2時間10分
(名張駅まで特急利用、名張駅のりかえ)

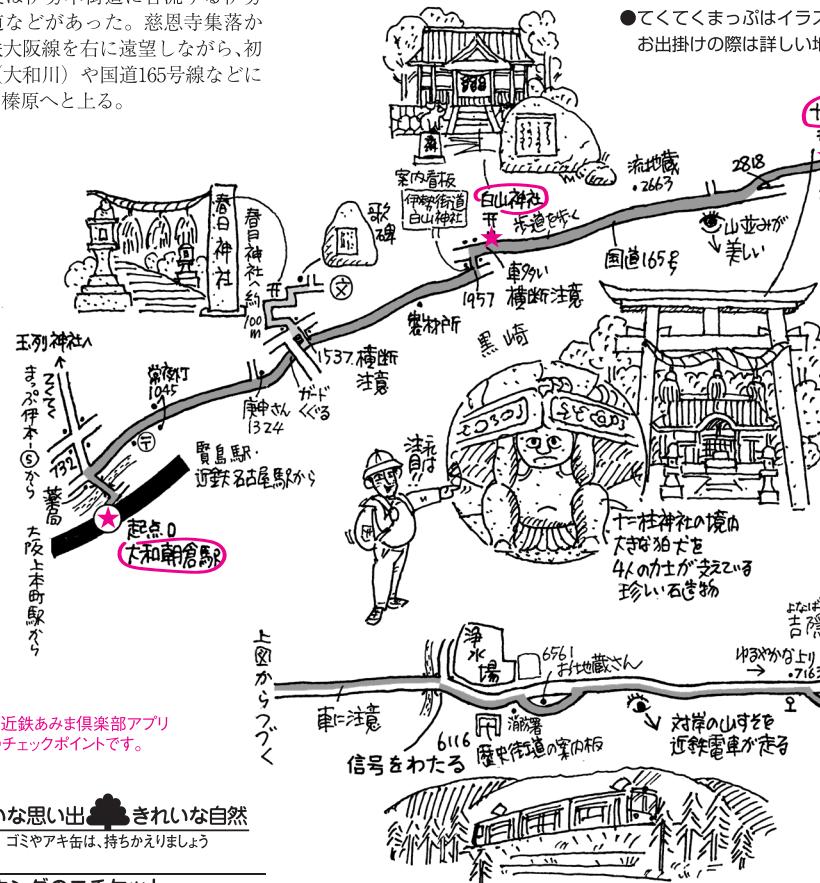
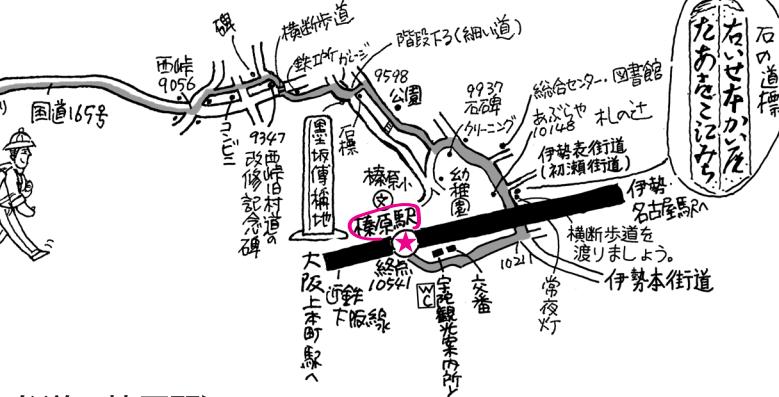
伊勢への道 この伊勢本街道は今の大阪市内から、生駒山暗峠→奈良→桜井→榛原→室生を経て伊勢へ向かう全長160km余。このほか伊勢本街道から榛原で分岐してほぼ近鉄大阪線に沿う伊勢表街道（初瀬街道）、吉野川沿いに大淀→吉野→高見峠を越えて最後は伊勢本街道に合流する伊勢南街道などがあった。慈恩寺集落から近鉄大阪線を右に遠望しながら、初瀬川（大和川）や国道165号線などに沿って榛原へと上る。

コースのあらまし 大和盆地から初瀬谷に入って、いよいよ上りへと差し掛かるコース。国道165号線と時折交差しつつ並行する旧道や、時に165号線の歩道を、白山神社や十二柱神社に立ち寄りながら進むと、やがて長谷寺参道。山門まぢかの伊勢辻で右に折れ、急坂を登って長谷寺を遠望。化粧坂を下り再び165号線へ。その長い上りの国道をひたすら歩き、西峠を越えると榛原の住宅地に出る。古い商店街などを通り、元旅籠「あぶらや」や道標などの残る札の辻から、榛原駅はすぐだ。

白山神社 黒崎集落の旧道を歩いていると左側に立派な石の鳥居があり、その先165号線を越えた北側にある古社。この辺りが雄略天皇の泊瀬朝倉宮跡かと考えられていた時期があり、境内には万葉集の最初を飾る雄略が詠んだという「籠もよみ籠もち…」の歌碑が建立されている。江戸時代の石灯籠や、鎌倉時代の十三重石塔の一部も残っている。



札の辻 古くから大和国東の玄関口であった榛原は、伊勢本街道と阿保越え伊勢表街道の分岐点。交通の要衝だけに、江戸時代は高札場も設けられ、その辺りが、札の辻と呼ばれた。辻の西側には、本居宣長も宿泊したという元旅籠「あぶらや」があり、東側には「右いせ本かい道」「左あをこ江みち」と刻まれた石標や、太神宮の大きな常夜燈も残っている。



- ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
- 山火事防止のためタバコに注意しましょう。
- 大切な自然です。植物の採集はつつしません。
- 地図内の数字は、起点からの実測距離（メートル）を表わしています。

企画・発行=近畿日本鉄道（株）
制作・印刷=（株）アド近鉄
イラストマップ=鈴木章人
※無断転写禁止。

伊勢参宮本街道6 初瀬街道 西峠越えコース

近鉄

- コース内の神社仏閣、施設等によっては、有料の個所があります。

このコース地図は2019年4月調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることもありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ=近鉄 大阪ハイキング係
電話(06)6775-3566

長谷寺参道伊勢辻 真言宗豊山派總本山、長谷寺の門前の参道は、その一部が伊勢街道になっている。そのまま進めば山門へのカーブという辺りに、伊勢へと向かう道のT字路、伊勢辻がある。名物の草餅屋さんの角に、「伊勢の辻」「右いせみち」と書かれた石標も建っている。付近の化粧坂の名前は、参詣の女人が急坂で汗をかき、化粧を直したことによ来するとも言われる。

近鉄あみま俱楽部の
情報は
コチラ!→

